

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D2		
		仕様		STD		
		適用号機		XKM00001～		
区分	検査箇所	検査項目（条件）	単位	検査基準値		
エンジン	エンジン本体	エンジン回転速度				
		ハイアイドルリング	min ⁻¹	2100		
		ローアイドルリング	min ⁻¹	950		
		トルコンストール状態	min ⁻¹	—		
		（冷却水温）	(℃)	(70～80)		
		（作動油温）	(℃)	(80～90)		
		エンジン油圧	kgf/cm ² KPa (油 温) (回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	375～ (60～70) (1800-2400)	
		弁すき間				
		吸気弁 隙間	mm	0		
		排気弁 隙間 (測定条件)	mm	0 (冷間時)		
	圧縮圧力又は 気筒間圧縮圧力差	kgf/cm ² KPa (冷却水温) (回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	350 (—) (—)		
	燃料装置	噴射ノズルの燃料噴射開始圧力	kgf/cm ² KPa	設定なし (コモンレール)		
冷却装置	ファン駆動ベルトの張り	mm	設定なし			
		[測定位置・条件]	(自動張り調整)			
		[kgとNの両方で表記]	[N]			
動力伝達装置	クラッチペダル又はインチングペダル	ペダルの遊び取り付け高さ	c m	—		
		ペダルの遊びとストローク	c m			
		ペダルの全ストローク	c m			
	走行ミックス油圧ポンプ	主クラッチ型	ブースタ油圧	MPa kg/cm ²	—	
		ダイレクトシフト型	ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—	
		流体継ぎ手型	トルコン油圧	KPa kg/cm ²	—	
			ミッション潤滑油圧	KPa kg/cm ²	—	
			クラッチ油圧	KPa kg/cm ²	—	
				(ミッション油温) (エンジン回転速度)	(℃) (min ⁻¹)	—
		プロペラシャフト	ボルト締付けトルク	N・m kg・m	—	
ステアリング装置		レバー	レバー遊びのストローク レバーの全ストローク	c m c m	—	
	ステアリングクラッチ油圧		MPa kg/cm ² (油 温) (回転速度)	— (r p m)		

キャタピラー

令和4年度（公社）建設荷役車両安全技術協会

適用範囲		モデル名		D2	
		仕様		STD	
		適用号機		XKM00001～	
区分	検査箇所	検査項目(条件)		単位	検査基準値
走行装置	クローラベルト	ベ ル ト	張り(たわみ量)	mm	—
			測定方法・条件 (図面番号表示)		
		鉄 シ ユ ー	張り(たわみ量)	mm	図1参照
			測定方法・条件 (図面番号表示)		
			リンクピッチの伸び	mm	—
	測定方法・条件 (図面番号表示)				
	履板取付ボルト				
	締付けトルク	N・m		170±40	
	測定方法・条件	kg・m		180±5°増し締め	
制動装置	駐車ブレーキ 走行ブレーキ	停止状態保持性能 制御能力		床面勾配 1/5以上	—
		測定方法・条件			
作業装置	シ リ ン ダ ー 自 然 伸 縮	ブルドーザー	ブレードリフトシリンダー	mm/分	17mm/5分
			作業装置姿勢 (図面番号表示)		地面から254mm
			ブレードチルトシリンダー	mm/分	33mm/5分
			作業装置姿勢 (図面番号表示)		チルト左一杯
		リッパースhiftシリンダー	mm/分	6mm/5分	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		地面から254mm	
		リッパースhankシリンダー	mm/分	—	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)			
	ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー	mm/分		
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		—	
		バケットシリンダー	mm/分		
		作業装置姿勢 (図面番号表示)			
		(作動油温)		(℃)	
作業機速度	ブルドーザー	リフトアームシリンダー	秒	2.2±0.3秒	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)		地面～最大	
	リフトアームシリンダー	秒	1.3±0.2秒		
	作業装置姿勢 (図面番号表示)		地面～最大		
	ドーザー・ショベル	リフトアームシリンダー	秒	—	
		作業装置姿勢 (図面番号表示)			
		リフトアームシリンダー	秒		
		作業装置姿勢 (図面番号表示)			
		(作動油温)		(℃)	
油圧装置	油圧回路 設定圧力	主回路設定圧力		kg/cm ² MPa	20.6±0.9 (38～65)
		(作動油温)		(℃)	
備考					

★印：新車基準値を表す。

項目	測定方法
図 1．履帯調整方法	1．車両をその全長の2倍の距離動かし、ブレーキを使用せずに惰力走行で停止させる。 2．バルブ・カバーを外す。（図は開けた状態） 3．トラックを張る場合、手動グリース・ガンでトラック調整バルブ（1）からマルチパーパス・グリース（MPGM）を充填する。 トラックを緩める場合、リリース・バルブ（2）を反時計方向に回す。 次に、トラック調整バルブ（1）を1回転させて開けて、グリースを逃がす。 その後、リリース・バルブ（2）を閉めてください。 5．バルブ・カバーを閉じる。 6．反対側の履帯に同様の作業を行う。 